

メディアセミナー 薬剤耐性 (AMR) とは

－日本の医療現場への影響、そして国のAMRアクションプランの位置づけ－

昨年、WHO総会でAMRに対するグローバル行動計画を採択しました。さらに、5月のG7伊勢志摩サミットで「薬剤耐性 (AMR) への対応強化」等の保健課題が検討されました。そして、まもなく開催される、G7神戸保健大臣会合において、AMRが主要な議題として検討される見込みです。

今回の講師、国際感染症センター長の**大曲**は、感染症危機管理の専門家です。国際経験も豊富であり、WHOとも連携し、最新の知見を有する、現場のスペシャリストです。セミナー終了後には、報道関係の方との情報共有を目的に懇親会を開催させていただきます。ご質問・ご意見も歓迎いたします。

日時：2016年9月1日（木） 17:00 ～（16:30受付開始）

会場：国立国際医療研究センター研修棟 5階大会議室

対象：報道関係者

【注意】事前申し込みは不要です。直接会場へおこしください。
受付で名刺をご提出ください。

「薬剤耐性 (AMR) とは」

－日本の医療現場への影響、そして国のAMRアクションプランの位置づけ－	(40分)
国立国際医療研究センター病院 国際感染症センター長 大曲 貴夫	
質疑	(20分)
懇親会	(50分)

主催 国立研究開発法人国立国際医療研究センター

連絡先：国立国際医療研究センター 広報係

e-mail web-master@hosp.ncgm.go.jp

お問い合わせはメールで お願いします